

ICT 活用研究班だより

NO.1 令和8年7月17日

令和8年度研究主題

情報を主体的に活用し、思考力・判断力・表現力を高めながら学び続ける子供の育成
～多様な ICT 活用の実践を通して～

○今年度の研究のねらいと研究内容

「令和8年度伊勢崎市の学校教育方針」の中の『伊勢崎教育アクション4』確かな学力の向上では、教職員の専門性や指導力向上を図り、教科の魅力を伝える授業を追求することにより、子供が学びへの必要感を見だし、自分で学び続けられるようにすると述べられています。

また、各種教育の重点として、情報活用能力を育てる為に、各教科等において、ICT 機器の効果的な活用を通して個別最適な学びや協働的な学びを促進することを目指しています。

これまでの ICT 活用の取り組みについては、ミライシードの積極的な活用を通して、操作性や情報集約機能等の有用性とその効果を各学校や研究所便りで広めてきました。

今年度の ICT 活用研究班では、教職員の専門性や指導力向上のために、ミライシード以外の、さまざまな ICT (アプリ等) を授業の導入や展開、まとめの場面で活用をしていきます。また、生成 AI の効果的な活用方法についても、実践と研究を重ねて、学校現場で「やってみたい」と思えるような実践報告を発信していきます。

ICT の利便性を生かした授業実践

教師と生徒の ICT 活用能力の向上

- ・ 様々な ICT の実践的な活用
- ・ 資質、能力を育む思考ツールの日常的な活用
- ・ 多様な表現方法の選択と、協働的なアウトプット
- ・ デジタルポートフォリオによる学びの蓄積と活用
- ・ 資質・能力の高まりを実感する児童生徒の変容を把握



継続的・系統的な指導実践

生成 AI の効果的な活用

- ・ 授業の導入や展開、まとめの場面に分けて、各教科での活用方法と活用効果を検証



思考力・判断力・表現力を高めながら学び続ける子供の育成